

みなさまへ

この度の震災では、多くの皆さんが、あたりまえの自分の暮らしを突然奪われ、大きな悲しみの中におられるのではと心を痛めています。

必ず道は開けると信じ、希望を失わず小さな一歩を踏み出し、一日一日を大切に積み上げていただけたらと願っています。

私も認知症とともに歩む日々を諦めることなく積み重ねていきます。(鳥取県 認知症の本人)

被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。一日も早く当たり前の暮らしができるように、安心して温かい飲み物やお食事ができるひと時が一刻も早く訪れるように祈っています。皆様の一日、一日が前に進みますように応援しています。現地に伺えないのですが、精一杯、私にできる支援について考え、仲間とともに行動します。(岩手県 医療福祉介護の専門職)

遠慮せずに、願いをつぶやいて。少しでも、楽になりますように。遠くからですが、ずっと祈っています。(東京都 本人の活動支援者)

一歩一歩前進して、早く元に戻りますように祈っています。(神奈川県 認知症の本人)

1日も早く、日々の生活を取り戻せますように、願っております。私は認知症の当事者ですが、同じ仲間たちと一緒に、能登の皆様が安心と笑顔を取り戻せますように、毎日応援しております。(長崎県 認知症の本人)

少しでも早く安心できる生活ができますように！岩手の地から応援しています！(岩手県 チームオレンジ一同：認知症の本人、本人の活動支援者、家族等、医療福祉介護等の専門職、行政関係者、企業)

とにかく生き抜いて下さい!! 支援の手が、みんなに届きますように!!(沖縄県 認知症の本人)

私は東日本大震災の被災者です。時間はかかりますが、『何とかなります』。頑張ってください。(沖縄県 認知症の本人の活動支援者)

私は市の防災対策課にいますが、能登半島の皆さまに何かしたいという気持ちがありながら何もできずに過ぎてゆく日々がはがゆく、本当に1日も早く、平穏に暮らせる日が来ることを願うことしかできずにいます。厳しい現状ではあるかと思いますが、普通の暮らしができることの希望を失わず、前を向いて生きるために私たちにできることがあればなんでも言っていただければ、と思います！(和歌山県 行政関係者)

私は53年前、金沢に転勤になった人を訪ね、友達と能登半島一週しました。思い出のひとつに、輪島の朝市があります。その後、奥村土牛の作品(朝市の女)を知り、かさ、かすりの着物、とても生き生きと描かれて飾ってます。魚も、素晴らしいです。

私はいま病気はありますが、助けられ前向きに生きてます。どうか希望を捨てずに、生きてください。(神奈川県 認知症の本人)

ICT機器で生活を支援するべく、製品化を模索している企業です。われわれも、皆さまのお役に立てる製品づくりを急ぎます。(鳥取県 企業)

がんばっている皆さんを報道でみていて、頭が下がります。僕たちにできることは少ないですが、日本が1つのチーム！共にファイト！(沖縄県 医療福祉等の専門職)

能登を応援！小さな声プロジェクト

